

科目名 (科目番号)	血液検査学 I (102151)	教員名 吉田 保子	学科等	臨床検査	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		前期水4.5 後期水3.4	B321研究室	
授業概要	血液成分の産生機構・形態・機能についての基本的知識を習得し、血液・造血器疾患の診断に必要な血液検査学について学び、血液の量的、質的異常を理解する。また、止血機構に関与する凝固・線溶系の検査法を学び、血栓形成や出血傾向の診断に必要な知識を習得する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	血液総論	血液成分・性状、血液の採血条件、採血行為の範囲、採血の種類、採血に際しての注意事項、採血の部位と手段(静脈・毛細血管・耳朶・指頭・かかと)、乳幼児の採血、採血容器の取扱い方と種類、抗凝固剤の種類・作用機序・使用				
	2	血球に関する検査- (1)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。赤血球数、白血球数、血小板数の算定について学ぶ。				
	3	血球に関する検査- (2)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値、赤血球指数の算定を学ぶ。赤血球系疾患と血液検査結果の評価を習得する。				
	4	血球に関する検査- (3)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。赤血球浸透圧抵抗試験、赤血球沈降速度測定を学び、赤血球系疾患と血液検査結果の評価を習得する。				
	5	形態に関する検査- (1)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。血液塗抹標本の作製法と普通染色法を学ぶ。				
	6	形態に関する検査- (2)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。末梢血液像(赤血球系)の鏡頭と網赤血球数の算定を学び、赤血球系疾患と血液検査結果の評価を習得する。				
	7	形態に関する検査- (3)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。末梢血液像(白血球系)の鏡頭と好酸球数の算定を学び、白血球系疾患と血液検査結果の評価を習得する。				
	8	血球・形態に関する検査	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。自動血球計数装置(概要・測定法)を習得し、用手法との比較を学ぶ。				
	9	形態に関する検査- (4)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。特殊染色法を学び、白血球系疾患と血液検査結果の評価を習得する。				
	10	形態に関する検査- (5)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。骨髄検査、血液細胞抗原検査法を学び、血液検査結果の評価を習得する。				
	11	血小板・凝固・線溶検査- (1)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。血小板機能検査を学び、血液検査結果の評価を習得する。				
	12	血小板・凝固・線溶検査- (2)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。凝固系の検査を学び、血液検査結果の評価を習得する。				
	13	血小板・凝固・線溶検査- (3)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。線溶系の検査を学び、血液検査結果の評価を習得する。				
	14	血小板・凝固・線溶検査- (4)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。凝固・線溶阻止因子の検査を学び、血液検査結果の評価を習得する。				
	15	血小板・凝固・線溶検査- (5)	採血法、採血容器の種類・抗凝固剤の選択、検体の取扱い方。凝固・線溶系の分子マーカーの検査を学び、血液検査結果の評価を習得する。				
成績評価の方法・基準	期末試験 (90%) + 小テスト (10%)						
教科書	最新 臨床検査学講座「血液検査学」/血液細胞症例集	奈良信雄、他 著/監修:一般社団法人日本臨床衛生検査技師会			医歯薬出版/丸善出版		
参考図書	血液検査技術教本	監修:一般社団法人日本臨床衛生検査技師会			丸善出版		
教員からのメッセージ	毎回授業内に小テストを行います。小テストは採点をして授業内で返却します。昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。						